

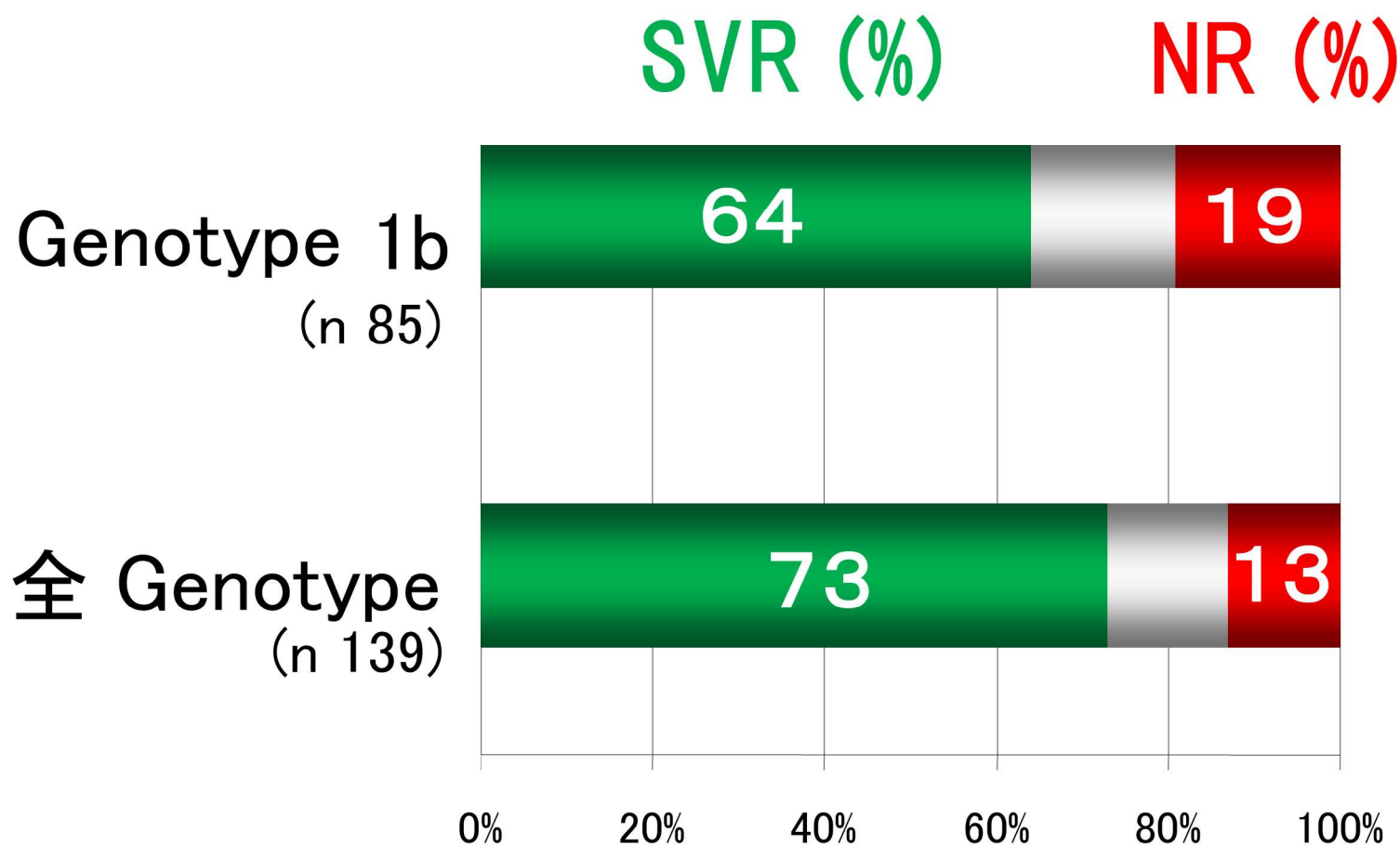
結論

HCV 遺伝子型 1 型 HCV 患者において, リバビリン併用下の PEG-IFN α -2b \cdot α -2a の標準量レジメンのあいだにも, PEG-IFN α -2b の標準用量・低用量レジメンのあいだにも, 持続陰性化率 (SVR) と忍容性に有意差は認められなかった。

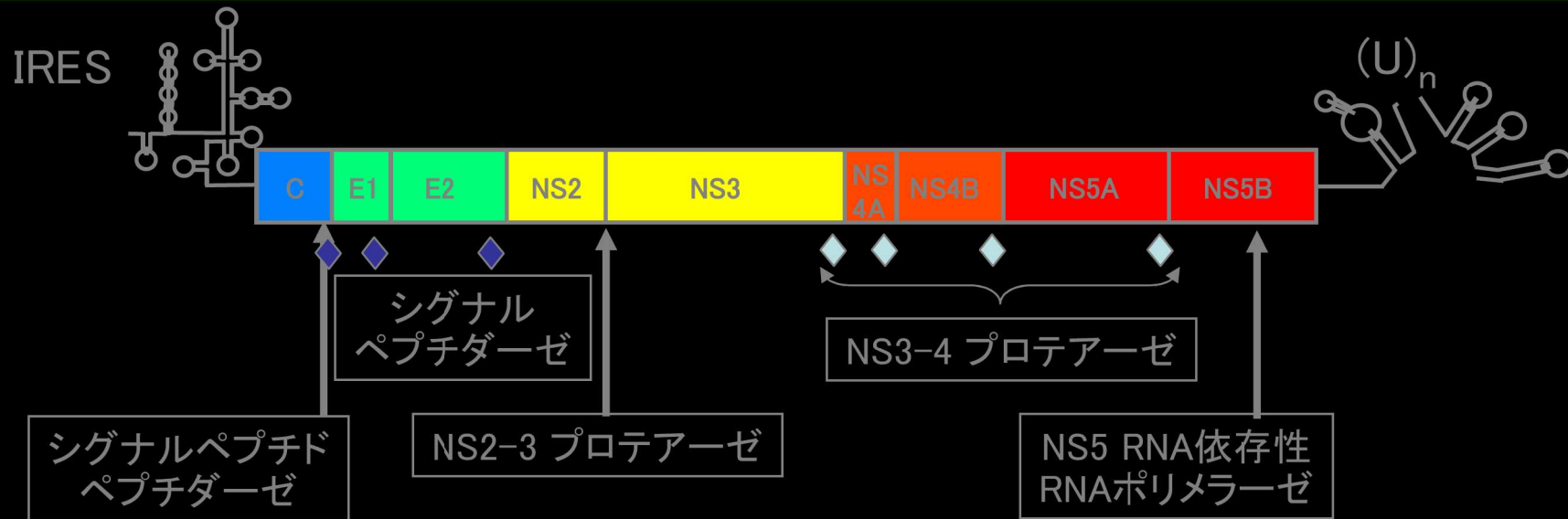
山梨県立中央病院の症例当たりの治療成績

2005～2009年投与開始 (PPS%)

SVR: 著効 NR: 無効



C型肝炎ウイルスの遺伝子構造と新規治療薬



新規インターフェロン
 Albuferon
 Omega interferon
 PEG-rIL29

プロテアーゼ阻害剤

Telaprevir
 Boceprevir
 MK7009
 TMC435
BI201335
 VBY376
 ABT-450
BMS-650032

ポリメラーゼ阻害剤 核酸型

ABT-333
 R7128
 IDX184
 ANA598

非核酸型

BI207127
 VCH-759
 VCH-916
 PF-868554
 MK3281
 ABT-072

NS5阻害剤

BMS-790052
 AZD7295

宿主蛋白標的薬

Nitazoxanide
 DEBIO-025

その他

ME3738

インターフェロンを使わないC型肝炎治療

- ・経口2剤

(プロテアーゼ阻害剤 BMS-650032 + NS5A阻害剤 BMS-790052)

- ・経口2剤

(プロテアーゼ阻害剤 BI201335 + NS5A阻害剤 BI207127)

- ・経口3剤

(プロテアーゼ阻害剤 BI201335 + NS5A阻害剤 BI207127
+ リバビリン)

- 自覚的な副作用はほとんどなし、高齢者も問題なく服用